

個人の力による街づくりを考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 誰でも、自分の生まれ育った街がよりよくなってもらいたいと希望します。
- (2) しかし、なかなかそうはならず、横で見ている歯がゆい思いをすることが多い。
- (3) それなら、自分の仕事や活動を通して、少しでも自分の生まれ住む街をよりよくしたらどうか。個人の力による街づくりを考えたらどうか。
- (4) 今日の開倫塾の時間は、「個人の力による街づくり」を2つの具体的な事例を通して考えます。

2. 「ネコヤde大市(ネコヤドオオイチと読む・鹿沼市市役所前の路地)」による街づくり

- (1) 毎月第1日曜日、鹿沼市役所の前の小さな路地は、何百人もの若者で大賑わいだ。よく見ると、20代から30代の女性や女性に連れられたカップルが大半のように思われます。
- (2) このイベントは、2006年2月から毎月1回第1日曜日に、鹿沼市にある「響茶寮」と「アンリ口」という2つのお店が主宰して開いているようで、今年で3年目に入ったようです。
- (3) 私は、以前にも何回か行ったことがあり、先週の日曜日4月6日にも近くまで用事があったので行ってきました。相変わらず小さな路地に若者が肩が触れ合うくらいたくさん集い、小さな市を楽しんでいました。
イギリスのロンドンやフランスのパリ、スペインのマドリードに行ったときに、日曜日に「のみの市」によく出掛けましたが、規模は小さいものの手作り風でちょっとそれに似た楽しい感じがしました。
- (4) おにぎりやコーヒー、ケーキなどを売っている店、陶器や小さなアクセサリー、布地、古本を売っている店など、小さな店が所狭しと並んでいました。
- (5) なぜ、このようにたくさんの若者が集まるのかと言えば、1つ1つの店のセンスが極めてよいということです。例えば、古本屋さんには「暮らしの手帖」の第12号が置いてありました。
現代の若者は感性が素晴らしいので、本物か否かを一瞬のうちに見抜きます。厳しい現代の若者の感性や選択眼に合った商品が集められたお店、と言っても店員さん(店主さん)が一人の店ですが、若者を呼ぶのです。

(6) 先日は、プロのギタリストが来て狭い路地で演奏していましたが、毎回音楽家を呼んでミニコンサートを開いているのも素晴らしい企画力だと思います。

(7) 「おいしい食べ物」と「センスのよいお店」、「楽しい音楽」、この3つが何百人もの若者を毎月鹿沼市役所前の「ネコヤ de 大市」に呼び集めている。個人による素晴らしい街づくりだと私は考えます。

3. 黒磯・板室街道の「cafe syozo(シヨージョー)」による街づくり

(1) 今や、日本の「カフェ文化」の代表的な存在として全国から注目を浴びているのが、「cafe syozo」です。日曜日や祝日でなくても開店時間の午後1時近くになると、栃木県内はもちろんのこと、福島県や埼玉県、東京などから、このcafe syozoを目指して若者がゾロゾロとやって来ます。

(2) 何年か前から、アクセサリーの店や家具屋さんなどもcafeのまわりに続々openして、さながら「シヨージョー・タウン」の様相を呈してきました。

(3) なぜこんなにも若者(大半は見たところ20代から30代、40代の女性と女性に連れられてきたと思われる男性)をマグネットのように引きつけるのかと言えば、極めつけのコーヒーとスコーン、シフォンケーキ、つまり「食べ物」がおいしいこと、古い建物ではあるが、おそらく店のどこで、どのアングルで写真をとっても素晴らしい写真になるほどのセンス抜群のお店であること、ちょっとした買い物ができる空間があることだと思います。また、時々、イベントとして若い芸術家の作品展をしたり、近くまで来た音楽家が演奏したりもするようです。去年は、かなり有名な演奏家のジャズピアノと二弦琴の演奏会を店先でしたようです。

(4) おいしい飲み物や食べ物(コーヒー・スコーン・ケーキなどを中心とした)と、買い物ができるところ、楽しいイベントが気楽に楽しめることが、たくさんの若者を引きつけるのだと私には思えました。

4. おわりに

(1) 先週開かれた東京の経済同友会の消費活性化委員会で、マッキンゼーの日本での代表をなさっていた横山さんから、観光で大切なことは「おいしい食べ物」と「買い物」と「都市で楽しむこと・意味あることをすること」であると教えて頂きました。

(2) 「個人による街づくり」にも、似たようなポイントがあると思います。

(3) 最後に、今日御紹介した2つの事例に共通したことがもう一つあります。どちらも古い家屋を丁寧に丁寧に使っている、活用しているということです。現代の感覚に合わせ創意工夫をすれば、どのような建物も十分活用できるのだというベスト・プラクティスです。これから商売をしたい方、街づくりをしたい方は、勉強のために、また御自身の楽しみとして、お客様として毎月お出掛けになることをお勧めします。

皆様も自分のこととして、お近くの方と協力して街づくりをしてみませんか。

- 2008年4月8日記 -